

2024 年度
第 63 回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦
第 59 回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦

Supported by 

【UNIVAS CUP 2024-25 指定大会】
開催要項

1. 主催 一般社団法人全日本学生アーチェリー連盟
2. 共催 一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)
3. 特別協賛 興和株式会社
4. 主管 東海学生アーチェリー連盟
5. 日程 2024 年 6 月 15 日(土)～16 日(日)

6 月 15 日(土) 予選ラウンド	9:30 ~ 10:00	開場・受付
	10:00 ~ 11:30	公式練習
	10:00 ~ 10:30	監督会議
	10:30 ~ 11:30	用具検査(監督・コーチ含めチーム単位)
	11:45 ~ 12:00	開会式
	12:10 ~ 14:40	予選ラウンド(72 射 2 立)
6 月 16 日(日) 決勝ラウンド	8:30 ~ 9:00	開場・受付
	9:00 ~ 11:45	1/16 イリミネーション～セミファイナル(同時射ち)
	12:00 ~ 14:00	メダルマッチ(交互射ち)
	14:10 ~ 14:30	表彰式・閉会式
	14:30 ~ 15:10	的撤去(選手はご協力ください)

※競技の進行状況により、時間は変更になる場合がある

6. 会場 つま恋リゾート彩の郷 第 1 多目的広場
〒436-0011 静岡県掛川市満水 2000
TEL 0537-24-1111
<https://www.sainosato.jp/access/index.html> (交通アクセス)
7. 競技種目 予選ラウンド: 70mラウンド(72 射)
決勝ラウンド: オリンピックラウンド 団体戦
8. 競技規則 全日本アーチェリー連盟競技規則 2024～2025
※競技規則第 111 条 1 項(9)に則り、**決勝ラウンドの対戦ごとのチーム内メンバー変更を認めない。決勝ラウンドのメンバー編成変更届は 6 月 16 日(日)の受付で受理する。**
9. 参加定員 リカーブ男子: 18 校(最大 72 名、1 校 3 名もしくは 4 名)
リカーブ女子: 18 校(最大 72 名、1 校 3 名もしくは 4 名)
出場校配分: 北海道学連 1 校、東北学連 1 校、関東学連 5 校、東海学連 2 校
北信越学連 1 校、関西学連 4 校、中国四国学連 2 校、九州学連 2 校
10. 予選通過 全チームを予選通過とする
11. 表彰 <団体戦> 男子 6 校、女子 6 校
1 位: 優勝杯・優勝旗、2 位: 準優勝盾、1 位～6 位: 賞状
12. 参加資格 下記の全てを満たしている競技者
・競技の全スケジュールへ参加が可能なこと
・第 2 回会員登録時まで 2024 年度全日本アーチェリー連盟競技者登録を完了していること
・グリーンバッジまたはホワイトバッジ(アウトドア)以上を所有していること
※申請中の場合も可能

13. 選考方法 出場校配分に則り、地区学連が決定する
- ・地区学連は選考後、速やかに選考方法と出場校を本連盟競技部へ報告する
地区学連選考提出期限: **5月26日(日) 18時**
 - ・地区学連選考で出場校が満たない場合、全日学連が出場校以外に対して補欠選考を行う
 - 1 加盟校が申請する記録は、対象期間内の全日本アーチェリー連盟公認競技会の結果(70mラウンド 72射 1回×3名)とする
 - 2 補欠選考は3名の申請記録合計の上位から選考する
 - 3 通過点の同点判定は選考委員の抽選により行う
 補欠選考対象期間: 2023年5月22日(月)～2024年5月12日(日)
 補欠選考申請期限: 2024年5月26日(日)18時
 補欠申請フォーム:
<https://forms.gle/X7N6DGH37wwrfdaH6>
 選考会議: 5月31日(金) ※選考発表後の出場辞退は認めない
 - ・出場校は **6月2日(日)21時まで**に競技者を本連盟競技部へ報告すること
 ※提出内容は選考発表時に案内する
 ※補欠選考により選出された出場校も申請時から競技者を変更することが出来る
 ※6月15日(土)の監督会議にて競技者変更の有無を確認する
14. 参加費 40,000円/チーム
- ・参加費は地区学連を経由して集金するため、全日学連に対して直接振り込みを行わないこと
 - ・地区学連担当者は全日学連財務部から発行される請求書に従って入金すること
 - ・今年度に関してはつま恋リゾートの施設利用料の請求はございません
15. 宿泊・弁当 京王観光による宿泊・弁当の斡旋を行う
 詳細については5月下旬を目途に案内する
16. その他
- ・選手は全ア連会員証、スターバッジを必ず持参すること(用具検査時に確認します)
 - ・競技中の負傷は応急処置のみとし、それ以上の責任は負わない
 - ・選手については主催者側で傷害保険に加入する
 - ・納付した参加費は返還しない
17. 個人情報の取り扱いについて
- ①以下の使用目的のために出場選手の個人情報を用いる。
 - ・選考通知、成績表、競技会プログラムの配布(ホームページ掲載を含む)ならびに関係機関への情報提供
 - ・本連盟の公式ホームページおよび各種 SNS への画像・映像の掲示
 - ・競技会運営に必要な場内アナウンス、掲示
 - ・一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)による競技会のライブ・アーカイブ映像配信
 - ②出場選手は競技会関係で選手の肖像・映像・氏名の報道、放送に関する使用の許諾を与えるものとする。
18. アンチ・ドーピングについて
- ・本競技会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象競技会である。
 - ・選手は競技会にエントリーをした時点で、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。
 - ・選手は本人確認のため、写真付き身分証明証(学生証、自動車免許証、パスポートなど)を常に携帯すること。
 - ・本競技会においてドーピング検査(尿・血液など検体の種類を問わず)が実施され、これを拒否・回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動など個人的諸事情によりドーピング検査を完了できなかった場合は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。
 - ・アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁などを受けるため、留意すること。
 - ・選手は、競技前 7 日間に服用した医薬品、塗布、注射など医療行為を施したり使用したりしたもの(処方薬、売薬を問わない)および摂取したサプリメント類の名前と数量を記入したメモを携行が推奨される。
 - ・競技会・競技会外検査を問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。
 - ・病気やケガの治療のために、禁止物質や禁止方法を使用せざるを得ない場合には、特例として JADA の承認を得た上で使用可能となる(TUE: 治療使用特例)。
- ※日本アンチ・ドーピング規定の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング

機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて選手各自が確認すること。